

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療福祉総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	救急処置法		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 水、3・4限	教室名	602教室
担 当 教 員	中原 真理子	実務経験と その関連資格	看護師専任教師、赤十字救急法指導員 赤十字幼児安全法及び健康生活支援講習指導員			
《授業科目における学習内容》						
実技を中心に日常生活や医療現場で発生しうる急病・事故に対して対応できるための救命処置や応急手当を習得する。特に心肺蘇生法やAEDなどの一次救命処置を確実に習得する。また、日常生活において事故予防に務めるための知識を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 基礎講習ペーパーテスト及び実技テスト 80点以上で合格すること。合格者には認定証を発行します。 2. 一次救命処置以外の内容について、学科試験と実技試験を実施します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本赤十字社 赤十字救急法基礎講習 日本赤十字社HP 講習について「救急法」講習内容についての関連ページ https://www.jrc.or.jp/study/safety/comb/ 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布資料の読み込みと救急法に関心を持ち赤十字などがネット上で公開している救急法の方法について予習、復習をする。 実技は必ず自宅で反復練習を行い、実技テストに合格すること。						
《履修に当たっての留意点》						
いつ、どこで発生するかわからない緊急時の処置をしっかりと学んで下さい。実技では人形や健常者をモデルに処置について学びますが、常に緊急時を想定して、いざ発生したときに冷静に対処できるように意識して授業に臨んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急法の基礎知識、救急法の意義を理解することができる。	赤十字救急法基礎講習教本	救急処置について自分が過去にしてきたものを思い出してみる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 救急法の基礎知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察の基本、傷病者への接し方について理解することができる。	赤十字救急法基礎講習教本	前回内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	手当の基本①			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置の手順について理解することができる。	赤十字救急法基礎講習教本	前回内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	一次救命処置①			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDの使用方法や注意点を理解し、救命のための適切な使用ができる。	赤十字救急法基礎講習 配布プリント	前回内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	一次救命処置②			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDを使用した胸骨圧迫、人工呼吸を確実に実施できる。	赤十字救急法基礎講習	前回内容の復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	一次救命処置③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生法を胸骨圧迫、気道確保一連の流れで実施することができるようになる。	赤十字救急法基礎講習講習	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	一次救命処置の復習 実技試験、学科試験		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	けがに対する応急処置の必要性について理解し、止血法を習得できる。	赤十字救急法HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。 AEDが学校のどこに設置されているか確認する。
		各コマにおける授業予定	きずの手当①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	けがに対する応急処置の必要性について理解することができる。	赤十字救急法HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	きずの手当①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	各部のきずに対する三角巾を用いた包帯法を習得できる。	赤十字救急法講習HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	きずの手当②		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨折の手当について理解し、固定法を習得できる。	赤十字救急法講習HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	骨折の手当①		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨折の手当について理解し、固定法を習得できる。	赤十字救急法講習HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	骨折の手当①		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	急病に対する応急手当の必要性を理解する。	赤十字救急法講習 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	心臓発作、脳卒中、気管支喘息の発作、熱中症、中毒、アナフィラキシー、けいれん等		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	搬送の必要性和安全に移動できる方法について理解できる。	赤十字救急法講習HP 配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	搬送の必要性 各種搬送方法の注意点と実際		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	実際の事故現場でのチームによる救命・応急手当の方法を実施する。	今まで使用した教材と配布プリント	前回内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	総合シュミレーション		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習した知識と技術を確認し、確実に身に着けることができる。	赤十字救急法基礎講習教本 赤十字救急法講習HP 配布プリント	上記14回の内容の再確認、実技の復習をしっかりとしておく。
		各コマにおける授業予定	止血法・包帯法・固定法等の実技試験 学科試験		